

1 はじめに

小学校英語教育の導入で、日本全国で子ども達にこれからのグローバル化社会で生きていくためのコミュニケーション力の育成を図ろうと取り組んできた。しかし、アメリカと中国の対立、ロシアのウクライナ侵攻、南北問題等などこれまでの国際社会の状況が急変し、これまでの常識が通用しなくなると同時に世界危機をも感じるようになってきている。この先、多様な価値観をもつ人々がどう折り合いをつけ平和な世界を構築していくことができるのか今一度私たち一人ひとりが考えていくことが必要であると考え。英語教育においても、単に、子ども達に英語力を身に付けさせるだけでなく、国際理解、他者意識といった「共に生きることのできる人材育成」を今一度意識した教育をしていかねばならないと思う。

そこで、今回、特別支援学級での英語教育を通して、特性のある児童の誰もが楽しめる授業づくりと多様性を認め合う児童の育成を図るための実践を試みようと考えた。

2 実践の様子

(1) 目的：特別支援学級における障害の違いや程度に関わらず参加したどの児童も楽しめるユニバーサルデザインの外国語活動の授業づくり並びにお互いが多様性を認め合える児童の育成の研究。

(2) 対象：特別支援学級の児童うち5名 全校児童 208名

【知的障害・情緒障害】1年男児 2年女児、4年男児、5年男児、6年男児

(3) 授業の実際

【指導における重点項目】

- 障害のある児童が見通しを持てるよう毎時間の授業の流れを統一する。
 - ①一人一人と挨拶、名札渡し②絵本や歌、③クイズやゲーム等のアクティビティ④挨拶
- 絵本を核にして、どの児童も楽しむことができる活動を工夫する。
- 場面、状況、目的を明確にし、英語で理解できる授業をする。
- 児童が興味を持ちやすく五感を使って理解しやすい活動を工夫する。
- 内容を理解させる際には、学習指導要領にある「やってみせる指導」を徹底する。
- 文字には頼らない。発話を強いらぬ。
- 何度も繰り返し聞かせる機会をもつことでゆっくり慣れ親しませる。
- 授業で作った作品や授業風景の写真を校内に展示し全校児童にも紹介する。



【学習内容と言語材料】

回	月日・テーマ	学 習 内 容	使 用 言 語
1	5月2日 【数】	1 挨拶 名札渡し 2 絵本読み聞かせ “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” 3 歌 (YOU TUBE 利用) 同上♪ Seven steps♪ 4 How many QUIZ (全員出題) おはじきの数を当てるクイズ 5 挨拶	Good morning, … How are you? Here you are. Thank you. How many monkeys? Let’ s count. One two three… One two three four five How many marbles? One? Two? Three? Four? Five? Thank you. See you.
2	9月28日 【場所】	1 挨拶 名札渡し 2 絵本読み聞かせ①② “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” “Where is Spot?” 3 歌 “On In Under By♪” 4 “Where is the spider QUIZ” 蜘蛛がどこにいるか当てるクイズ (全員出題) 5 挨拶	Good morning, …How are you? Here you are. Thank you. Where is～? On, In, Under, By, Where is～? On, In, Under, By, Where is the spider? On? In? Under? By? Thank you. See you.
3	10月19日 【ハロウィン】	1 挨拶、名札渡し 2 絵本①② “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” “GO AWAY BIG GREEN MONSTER!” 3 ハロウィーンパーティーをしよう ・ハロウィンの由来 (日本語で) ・お面づくり ・仮装してみんなで写真を撮ろう 4 挨拶	Good morning, …How are you? Here you are. Thank you. Haier face nose teeth ear eye Trick or treat pumpkin, cat, Frankenstein, Skeleton Thank you. See you.

4	11月19日 【これ何?】 【やさい】 【数】【色】 【動物】	1 挨拶 名札渡し 2 絵本① “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” 3 手遊び歌 “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” ♪ 4 絵本②③ “BROWN BEAR BROWN BEAR what do you see?” “やさいのおなか” (クイズ)  5 西洋すごろく Snakes and Ladders 6 挨拶	Good morning, ... How are you? Here you are. Thank you. one, two, three, four, five How many monkeys? one, two, three, four, five What's this? Monkey? No. Cat? No. Bear! What color? Brown. Brown bear. Purple cat. Blue horse. ... What's this? ねぎ! Yes, It's leek. ... sweet potato, onion, cabbage lotus root, bamboo shoots 1 ~ 2 0 Thank you. See you.
5	12月21日 【クリスマス】	1 挨拶 名札渡し 2 絵本①②③ “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” “BROWN BEAR BROWN BEAR what do you see?” 「赤鼻のトナカイ ルドルフ」 3 歌 「赤鼻のトナカイ」 ♪ 4 “Matching GAME” クリスマスの神経衰弱 5 プレゼント交換 折り紙のサンタクロースづくり 6 挨拶	Good morning, ... How are you? Here you are. Thank you. How many monkeys? one, two, three, four, five What's this? Brown Bear. Purple cat. Blue horse. ... Santa, reindeer, candy cane, Christmas tree, present, Thank you. See you.

6	2月15日 【動物】	1 挨拶 名札渡し 2 絵本① “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” 3 手遊び歌 “FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” ♪ 4 絵本②③ “BROWN BEAR BROWN BEAR what do you see?” “No, David” 5 紙粘土で好きな動物づくり 6 挨拶	Good morning, …How are you? Here you are. Thank you. one, two, three, four, five How many monkeys? one, two, three, four, five What’ s this? Monkey? No. Cat? No. Bear! What color? Brown. Purple cat. Blue horse. … Do you like cats? Yes? No? What animal do you like? No. What animal do you like? Rabbits. Cats. Elephants, Good morning, …How are you? Thank you. See you.
---	---------------	--	--

【使用した絵本】

“FIVE LITTLE MONKEYS jumping on the bed” EILEEN CHRESTELON Clarion Books

“BROWN BEAR BROWN BEAR what do you see?”

Bill Martin Jr ELIC Carle Henry Holt and Company

“Where is Spot?”

Eric Hill PUFFIN BOOK

「やさいのおなか」

きうち かつ 福音館書店

“GO AWAY BIG GREEN MONSTER!” Ed Emberley Hachette Book Group

「赤はなのトナカイ ルドルフ」 絵：飯田恭子 訳：遠山海彦 出版社：KADOKAWA

“NO David”

David Shannon SCHOLASTIC. INC

【授業の振り返り】

< 1回目 (5月) >

- ・英語の絵本の読み聞かせにはよく聞いていた。最後の落ちを理解し楽しんでた。
- ・How many? One? Two? Three? Four? Five?とといった英語を使って筒に入れたおはじきの数を当ててもらおうクイズでは、まず教師がやってみせ、やり方を自然に理解させた後、4人が交代で出題をして、みんなでクイズを楽しんだ。

- ・D児は、絵本の読み聞かせや歌に興味を示し、繰り返しの単語やフレーズをいち早く覚えて真似て発音する姿が見られたとのことであった。また、絵本の歌は特に気に入り、授業後も担任に頼んで YOU TUBE で繰り返し歌うことで自然に歌える得意な歌になったとのことだった。

<2回目(9月)>

- ・本時の絵本、歌、クイズともに、on, in, under, by に焦点を当てたものを集める工夫したことで手を変え品を変え同じ表現で繰り返し楽しむことができた。

<3回目(10月)>

- ・4年のB児はハロウィーンのお面の色塗りに熱心に取り組んでおり、図画工作が好きであることを発見できた。
- ・お面や仮装の集合写真を全校の児童が見られる場所に展示し4人のことを紹介した。



<4回目(11月)>

- ・A児は、FIVE LITTLE MONKERS 絵本に興味を示し、「お母さんにおこられるよ」とかストーリーを理解し反応を見せるようになった。
- ・B児は、絵本は何度も見たことがあるので退屈そうで興味をもてない様子だったが、「やさいのおなか」で野菜当てクイズを始めた途端、夢中で絵を見て野菜を名前を言い始めた。普段寡黙な子だけに驚いたが、担任の先生は、B児は家で祖父と野菜作りをしていて野菜に興味を持ったのだろうと話してくれた。
- ・C児は、BROWN BEAR の読み聞かせで、ページをめくる前に次に出てくる動物を予想して口に出していた。
- ・D児は、FIVE LITTLE MONKEYS の手遊び歌が気に入っており、楽しそうに笑顔で一緒に手を動かしながら歌おうとしていた。
- ・それぞれの子どものよさを感じた1時間だった。

<5回目(12月)>

- ・神経衰弱で1組もカードが取れない児童がいてゲームを繰り返したため時間がかかった。

<6回目(2月)>

- ・B児は、工作が好きで、今回も紙粘土での好きな動物づくりを授業後も熱心に色付けまでし、最後はニスで仕上げたいと担任に頼んだそうだ。
- ・できた作品を展示し、4人の好きな動物を全校の児童にも紹介した。

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 場面、状況、目的をはっきりさせることでオールイングリッシュで楽しめる授業
- ② よい絵本や歌によって、障害がある子にとっても大いに楽しめる外国語の授業づくりができた。
- ③ 実践した活動によってそれぞれの児童のよさを発見することができた。
- ④ 少ない回数ではあったが、授業で作った作品や授業の様子の写真で紹介することができた。



(2) 課題と新たな取組に向けて

- ① 児童に魅力的なよい英語の絵本や歌を今後さらに発掘していきたい。
- ② ALT を中核にし、低学年の外国語の授業でも実践し検証してみたい。
- ③ インクルーシブ教育のあり方を今後さらに研究したい。
- ④ 英語の絵本の読み聞かせや英語の歌の魅力を全校の児童にも味わわせたい。英語の絵本の DVD を昼の校内放送で流したり、そうじの始めと終わりに英語の歌を流したりして全校児童にも絵本や歌で英語に親しんでもらうようにしたい。

4 おわりに

今回の研修で、絵本や歌が、障害を持つ子ども達が楽しめる英語の授業づくりに大変有効であるという手ごたえを感じることができた。つまり、英語に慣れていない子ども達にとって適した絵や、英語表現、リズム、ストーリー性のある絵本や歌を選ぶことで、楽しく充実した時間となりうるということである。そして、絵本や歌を繰り返し耳にすることで、自然に表現やリズムに慣れてくることも実感できた。

また、テーマをもとに、児童にとって興味をわく活動を工夫することで、全員が参加できるユニバーサルデザインの活動を設定できた。それらの活動を通して、それぞれの児童のよさを発見でき、しっかりほめることができた。また、それを全校の児童にも紹介することができた。今後はさらに障害のあるなしに関わらず子ども達が共に活動する場を設定していきたいと考えている。そういった活動を工夫しながら継続することで、多様性を認め合うことができる人材の育成ができるのではないかと考えている。

障害のあるなし、様々な価値観の違いを越えて誰もが共にお互いを認め合える社会をつくっていきたいと願うとともに今後も微力ではあるが実践を続けていきたい。